

国会論戦の詳報 28日衆院予算委 集中審議

△本文記事1面

28日の衆院予算委員会「菅内閣の基本姿勢」に関する集中審議の主な質疑と答弁は次の通り。質問者は、伊吹文明、加藤勝信、谷公一、小泉進次郎(以上自民)、齊藤鉄夫(公明)、下地幹郎(国民新)、藤田一枝(民主)、吉井英勝(共産)、阿部知子(社民)、浅尾慶一郎(みんなの)各氏。

一体採決慣例とは言えず 首相

首相発言のポイント

- △民主・国民新両党の連立政権で衆院の現任期4年間は頑張り抜き、任期満了時に国民に信を問う
- △2011年度予算案の衆院通過後に、できるところから予算関連法案を成立させていただきたい
- △閣僚給与の2割削減は早い時期に提案し、実行する



菅首相



公明党・齊藤鉄夫氏
自民党・伊吹文明氏
国民党・下地幹郎氏

例とはならない。まず予算案を衆院通過させていただき、できるところから予算関連法案を成立させていたい。
ださない。

衆院解散・総選挙
菅藤氏 状況打開には二つの道しかない。一つは(2009年衆院選の民主党)マニフェスト(政権公約)が間違っていたと認めて議論を再スタートする道だ。それが嫌なら、もう一度国民に、今の民主党の考え方を聞いて、信を問うことだ。



阿部氏



阿部知子氏

国民に対するお願いだ。短期間で答えることはたくさんある。

専業主婦の年金救済
長妻氏を参考人に
阿部氏



阿部氏



藤田氏

国民に対するお願いだ。短期間で答えることはたくさんある。

■専業主婦の年金
加藤氏 (専業主婦の国年金切り替え忘れ問題)

で、届け出ていなかった人にも保険料追納を認めて年金を支給する政府の)救済措置だと、法令の通り届け出て保険料を納めていた人と不公平感が生じる。

首相 細川厚生労働相が中心だが、片山総務相と十分に協議し、適切な結論を出してもらいたい。必要に検討して厚労相が適切な結論を出すことになった。救済していくのか、公平の見地からやっていくのか。今、結論を出すのは難しい。

阿部氏 政府の救済策は誰が決めたのか。手続きを(2月25日に)総務相と協議し、速やかに政治に国際の信頼が高まつて、今は枝野官房長官にも間に入るよう指示した。

細川厚生労働相 (救済手続きを)一時留保している。その後(2月25日に)総務相と協議し、速やかに検討して厚労相が適切な結論を出すことになった。救済していくのか、公平の見地からやっていくのか。今、結論を出すのは難しい。

吉井氏 TPP(環太平洋経済連携協定)参加で日本の食料自給率は今40%から13%に低下すると政府自身が算出している。

谷氏 や合理化、生産性を高める努力の余地はある。食料自給率を下げていくと言っているのではない。

菅藤氏 一括交付金

藤田氏 社会保障制度の再構築の意義は何か。

首相 社会保障を負担とされることが本体が、今の時代の経済の考え方と矛盾しているのではないか。経済成長と社会保障と財政を一貫してトータルで国民に選択の実現を目指すと同時に、社会保障と税の改革、経済連携と農業開放の問題をしっかりとやつていき、(衆院議員)4年の任期を迎えた時にトータルで国民に選択をしてもらいたい。4年間でみてももらいたいのが私の意見ではないと思うつか。

小泉氏 なぜ今の民主党

事長が子ども手当(法案)の修正にとどまらず、児童手当の拡充も検討したいと発言したと理解している。

伊吹氏 予算案と関連法案

伊吹氏 予算案と予算関連法案を分離するのではなく、一体として(衆院で採決して)参院に送るべきだ。

菅首相 一緒にのケースが多いが、1989年以前はほとんど1か月、2か月予算案より(関連法案が)遅れているから、必ずしも償

ほんどの予算案を成立させていたい。

伊吹氏 予算案と関連法案

伊吹氏 予算案と予算関連法案を成立させたい。

菅首相 予算案を成立させたい。

伊吹氏 予算案を成立させたい。

菅首相 予算案を成立させたい。